

地域協力センター年報

Collaborative Technical Center

No.4 2023.3

2022

独立行政法人 国立高等専門学校機構
大島商船高等専門学校
National Institute of Technology, Oshima College

内容

地域協力センター設置目的	3
ご挨拶	3
地域協力センターの主な活動	4
地域協力センター運営委員会	4
【技術相談】	4
【生涯学習相談】	4
産官学連携	5
共同研究	5
共同研究報告	7
受託研究	10
寄附金	12
地域生涯学習	13
公開講座	13
出前授業	14
大島商船高等専門学校地域連携交流会事業	17
事業の概要	17
地域連携交流会役員会	21
地域連携交流会総会	21
地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演）	22
地域連携交流会ホームページ	24
付録	25
科学研究費助成事業	25
令和4年度教育改善充実費（校長裁量経費）	26
公募助成金（助成金）	27
技術相談申込要領	28
センター主要日誌	30
センター運営会議の開催状況	36

* 表紙・裏表紙（デザイン）は、本校電子機械工学科4年 初崎雛希さんに作成いただきました。

地域協力センター設置目的

ご挨拶

今年も地域協力センター年報（年間報告書 2022 年度）を皆様にお届けできることに對し、深く感謝申し上げます。また、大島商船高専地域連携交流会の法人会員の皆様、特別会員の皆様、個人会員の皆様から暖かいご支援を頂きましたこと、重ねて感謝申し上げます。おかげさまで、1年間の行事を無事に実施することができました。あらためまして、心から深く御礼申し上げます。

大島商船高等専門学校は、商船学科、電子機械工学科、情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。研究の活性化によるイノベーションの創出および成果の社会還元、また、産学官連携や地域連携活動の促進、そして公開講座や出前授業による地域人材の育成などを通じて、地域社会の活性化や振興に積極的に貢献するために、平成元年に地域協力センターが設置されました。平成 21 年には、地域振興会となる『地域連携交流会』を設けて、企業等からの各種相談に応じること、研究協力や生涯学習の推進を図ることを目的として活動しています。

また、令和 2 年度から『大島商船高等専門学校における地域貢献活動の目的、基本方針、目標』を新たに以下のように制定しております。今後一層地元へ貢献できるように全学を挙げて取り組みますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域協力センター長
北風裕教

【目的】

大島商船高等専門学校の人材、設備及び本校が有する商船教育や工業教育の研究成果等の知的資源の活用により、地域社会に貢献することを目的とする。

【基本方針】

下記の方針により地域貢献活動を推進する。

1. 地元企業人や一般市民を対象とした公開講座を通じた地域社会への貢献
2. 地域小中学生への商船系・理工系分野の出前授業を通じた地域社会への貢献
3. 地域産業界との共同研究等の連携による地域社会への貢献
4. 地域自治体との連携による地域社会への貢献
5. 行事や催物の支援を通じた地域社会への貢献

【目標】

1. 地域生涯学習の機会や場の提供による地域社会貢献活動を実施する。
2. 地域密着型の共同研究や開発を地域産業界と実施する。
3. 上記 1 及び 2 の活動を通じて人材育成活動を実施する。

地域協力センターの主な活動



大島商船高専は、平成16年4月から独立行政法人国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校となり、新たな一歩を踏み出しました。本校は、商船学科、電子機械工学科及び情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。本校では、教育と研究の機能及び設備を開放し、地域の方々のお手伝いをします。そのために校内には次の委員会等を設置しています。

地域協力センター運営委員会

【技術相談】

商船学、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学、計算機工学、自然科学（数学、物理、気象学、化学、体育等）等の分野について、受託研究、共同研究による研究開発、各種試験・分析等の受託、技術指導、情報提供及び各種相談等を担当しています。

【生涯学習相談】

地域の人々のニーズに合った学習機会の充実とその成果を活かすことのできる環境整備を積極的に支援していきます。

産官学連携

共同研究

本校に民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、共通の課題について、本校の教員と共同で研究を進める制度です。また、本校と民間企業等がそれぞれの施設で研究を行う「分担型の共同研究」もあります。なお、税制の優遇措置として、民間企業等が支出した試験研究費の一定割合が法人税(所得税)額から控除されます。

共同研究は派遣型と分担型とに大別されます。

区分	概略	民間機関などが負担する経費
派遣型	民間企業等から研究員を大島商船高等専門学校に派遣し、本校の施設・設備を使用して本校教員と共同で研究を行うもの	以下の①のみ又は①及び② ① 民間企業等からの研究員派遣に伴う費用 ② 研究に必要とする直接経費
分担型	民間企業等から研究員を派遣せず、大島商船高等専門学校及び民間企業のそれぞれにおいて共通の課題について協力して研究を行うもの	研究に必要とする直接経費

過去の共同研究の受入状況

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
校長	0	0	0	0	1
一般科目	2	1	0	0	1
商船学科	4	2	1	3	2
電子機械工学科	6	8	7	7	5
情報工学科	1	1	1	1	1
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	12	12	9	11	10

令和4年度の民間企業等との共同研究の受入状況は、10件（継続含む）です。

区分	研究内容	企業名・団体名	研究担当者	期間
分担型	A Iによる猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証	K Y Cソリューションズ 有限会社 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット	松村 遼	令和2年度～ 令和5年度
分担型	ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発2	日本発条株式会社	笹岡 秀紀 古瀬 宗雄	令和3年度～ 令和5年度
分担型	P Cによる汎用的な船体運動シミュレーション手法開発に関する研究	中電技術コンサルタント株式会社	千葉 元 岩崎 寛希	令和4年度～ 令和5年度
分担型	抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究	アルファ・エレクトロニクス株式会社 秋田工場	神田 哲典	令和4年度～ 令和5年度
分担型	大島丸を用いた電子ログブックの運用実験	古野電気株式会社	中村 泰祐	令和4年度
分担型	瀬戸内海における海洋プラスチックごみの動態把握および回収に関する基礎検討	国立研究開発法人海洋研究開発機構 国立大学法人 鹿児島大学	幸田 三広 吉積 侑莉 四丸 直人 山口 伸弥 小林孝一朗 山口 康太 松原 貴史 北風 裕教 松村 遼	令和4年度～ 令和5年度
分担型	非公開	非公開	神田 哲典	令和4年度
分担型	イットリウム鉄ガーネット酸化物薄膜を用いた磁化ダイナミクス励起制御方法の検討	長岡技術科学大学	神田 哲典	令和4年度
分担型	大気圧プラズマやパルス電場を用いた水中マイクロプラスチック回収技術の検証（代表：大分工業高等専門学校機械工学科 稲垣 歩）	長岡技術科学大学	中村 翼	令和4年度
分担型	大島丸を活用した海上デジタルトランスフォーメーションに関する研究	フューチャークエスト株式会社	校長	令和4年度～ 令和5年度

共同研究報告

研究題目	A I による猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証	
研究体制	高専代表者	情報工学科 松村 遼
	企業・団体名	K Y C ソリューションズ有限会社 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット
研究の概要	本共同研究は、深層学習による猪検出を用いた捕獲装置の開発・実証を行うものである。捕獲装置は、忌避効果を与えることを目的とした照明、音響機器と箱罾、囲い罾で構成され、照明、音響機器によって罾へと追い込みをかけるものとなる。猪検出や各種機器の制御に安価なエッジデバイスを用いることにより、装置の低コスト化を目指していく。	

研究題目	ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発 2	
研究体制	高専担当者	電子機械工学科 笹岡 秀紀 客員教授 古瀬 宗雄
	企業・団体名	日本発条株式会社
研究の概要	プラズマ溶射によってアルミナをはじめとするセラミック膜をアルミ基材に形成する技術は、半導体製造装置内部の保護膜として利用されて続けてきたが、他の半導体製造技術の進歩に伴って、溶射膜に対する絶縁耐力の要求水準が高くなってきている。しかし、溶射膜の絶縁破壊のメカニズムに対する知見不足と、絶縁耐力に影響を及ぼす複数の要素間に二律背反の関係性があることから、その方法論が見いだせていないのが現状である。この問題に対して我々は、これまでの溶射装置よりも材料粉末粒度を自由に設定できるツインカソードプラズマ溶射装置を利用して、形成条件と絶縁耐力を含む膜特性との関係性を調査することで、絶縁破壊メカニズムを解明し、それに基づいた耐絶縁性の高いセラミック膜形成技術の開発することを目指す。	

研究題目	P C による汎用的な船体運動シミュレーション手法開発に関する研究	
研究体制	高専担当者	商船学科 千葉 元 客員研究員 岩崎 寛希
	企業・団体名	中電技術コンサルタント株式会社
研究の概要	船舶の航行安全対策に際して、操船シミュレータを用いた動的な挙動を基に、操船の安全性や施設改良の安全性や施設改良時の安全性を確認することがある。従来、専用のマシンでしか実行できなかった手法ではなく、本研究では 2 次元の簡易な船体運動シミュレーションを P C またはタブレットマシンで実行できる汎用的手法を開発し、その活用方法について研究を行う。	

研究題目	抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	企業・団体名 アルファ・エレクトロニクス株式会社秋田工場
研究の概要	本研究では合金抵抗素子の基礎物性について数値シミュレーションを用いた検討を行い、合金中の各元素に対する特性への影響を系統的に調べた。現在、実験との比較を行っている。	

研究題目	大島丸を用いた電子ログブックの運用実験	
研究体制	高専代表者	船長 中村 泰祐
	企業・団体名	古野電気株式会社
研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・船上に搭載された実機環境で、問題なくセンサーデータを自動取得出来るかの検証 ・実際の船舶運航作業と並行し、電子ログブックを用いた記録作業が実施できるかの検証 ・紙の日誌に手作業で記入する場合に比べ、作業負荷がどの程度抑制されるかの検証 	

研究題目	瀬戸内海における海洋プラスチックごみの動態把握および回収に関する基礎検討	
研究体制	高専代表者	一般科目 幸田 三広
	企業・団体名	国立研究開発法人海洋研究開発機構 国立大学法人 鹿児島大学
研究の概要	<p>海岸・沿岸域で Web カメラによる常時モニタリング、海上ドローンによる上空からの観測により、画像・映像データを収集する。</p> <p>機械学習を用いて得られたデータからプラごみの種類や個数等を特定し、周防大島周辺域におけるプラごみの時空間マップを作成する。</p> <p>プラごみのホットスポットとなる季節や場所において、船舶等によるモニタリングにより推定した時空間マップの妥当性の検証を行うとともに、効率的なプラごみ回収につなげる。</p>	

研究題目	非公開	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	非公開
研究の概要	非公開	

研究題目	イットリウム鉄ガーネット酸化物薄膜を用いた磁化ダイナミクス励起制御方法の検討	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	長岡技術科学大学
研究の概要	本研究では、磁化ダンピング定数が小さく磁化ダイナミクスを励起しやすいことで知られるイットリウム鉄ガーネット（YIG）を薄膜化し、かつ、その励起構造を最適化することで、高コヒーレントスピン波励起を目標に磁化ダイナミクスの効率的な励起手法を検討した。今年度は素子作製のための YIG の薄膜化を共同研究先で、スピン軌道トルク（SOT）加えるために磁性薄膜の局所領域に加える電流密度と磁化ダイナミクスの関係を数値シミュレーションについて検討した。	

研究題目	大気圧プラズマやパルス電場を用いた水中マイクロプラスチック回収技術の検証 （代表：大分工業高等専門学校機械工学科 稲垣 歩）	
研究体制	高専担当者	電子機械工学科 中村 翼
	企業・団体名	長岡技術科学大学
研究の概要	本研究では、空気中の帯電粒子が電荷の印加により電極に吸着する性質を水中に応用し、マイクロプラスチックが高い濃度で存在する可視化水槽をターゲットにパルス電場や大気圧プラズマで吸着できないかという可能性に向けて、事前実験として大気中でのパルス電場中の粒子の振る舞いを調査した。また、実践と失敗による教育の場の提供として、長岡技科大での STI-Gigaku2022 への参加だけでなく、大分・新居浜・大島の三高専合同での卒業研究中間発表会を愛媛大学で行うなど教育的な取り組みも実施した。	

研究題目	大島丸を活用した海上デジタルトランスフォーメーションに関する研究	
研究体制	高専担当者	校長
	企業・団体名	フューチャークエスト株式会社
研究の概要	VHF Data Exchange System（VDES）をはじめとする海上デジタル通信技術を活用するにあたり、どのようなコンテンツ供給とその開発が求められるかを、新造の大島丸を活用し、新しい VDES 機能の実践的かつ探索的な機器開発、システム開発等を検討する。	

受託研究

民間企業等から特定の研究の委託を受けて、本校の教員が公務として行う研究です。経費は、研究を委託した方に負担していただきます。

過去の受託研究受入状況（継続含む）

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
校長	0	0	0	0	0
一般科目	0	0	0	0	0
商船学科	1	0	0	0	0
電子機械工学科	3	2	1	2	1
情報工学科	0	0	0	0	0
技術支援センター	0	0	0	1	1
計	4	2	1	3	2

令和4年度の受託研究の受入状況は、2件（継続含む）です。

相手方	担当教職員	研究課題
科学技術振興機構	増山 新二	未来社会に必要な革新的水素液化技術
有限会社長州電気	砂田 智裕	ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発

研究題目	未来社会に必要な革新的水素液化技術	
研究体制	高専代表者	増山新二
	企業・団体名	科学技術振興機構
研究の概要	<p>2017年策定の「水素基本戦略」には、水素コストをガソリンやLNG等と同等程度にする目標が掲げられ、2030年までの行動計画が示されている。この戦略を達成するための技術課題に「水素液化技術」が挙げられる。そこで本プロジェクトが、磁気冷凍技術を進展させた革新的水素液化技術の開発を目指し2018年度からスタートした。その内容は、①液化効率50%以上、液化量100kg/day以上の能力を有する水素液化機、②液化水素ゼロボイルオフを目指した小型・省電力冷凍機の開発である。研究体制は物質・材料研究機構（NIMS）が主体となり、国内諸機関が参画するオールジャパンの布陣となっている。詳細は「NIMS 液体水素」で検索していただきたい。</p>	

研究題目	ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発	
研究体制	高専代表者	砂田 智裕
	企業・団体名	有限会社長州電気
研究の概要	<p>可搬型のアンテナ架台等で採用可能な伸縮性脚部のワンタッチロック機構の製品化に向け、重量の軽減及び製作コストの削減を目指す。また、傾斜地に合わせ脚部を伸縮させ、水平となる位置で架台の各脚を同時にワンタッチ固定できる機構の検討を行う。本機構は脚の内部に設置したスプリングを利用し機械的に固定する仕組みであるため、固定強度が高く、様々な用途での活用が期待できる。</p>	

寄附金

民間企業等や個人投資家からの寄附を受け入れて、本校の研究や教育の充実発展に活用させていただく制度です。「〇〇に対する研究」等研究目的を指定したものも可能です。なお、税制上の優遇措置として国に対する寄附金となり、法人の場合は全額を損金に算入、個人の場合は所得の25%を限度として所得控除ができます。

過去の寄附金受入状況 (※) 公募助成金を除く

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
学校に対して	6	7	5	13	8
一般科目	0	0	0	0	0
商船学科	1	0	0	1	9
電子機械工学科	5	4	3	0	4
情報工学科	0	0	0	0	0
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	12	11	8	14	22

教員に対する令和4年度の寄附金の受入状況は、13件（新規）です。

相手方	担当教職員	研究課題
古荘 雅生	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
井本商運株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
株式会社日立ハイテク	古瀬宗雄	研究助成のため
加藤汽船株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
ジャンボフェリー株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
ヤンマーパワーテクノロジー株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
日本発条株式会社	笹岡秀紀	研究助成のため
古野電気株式会社	校長	研究助成のため
株式会社日立ハイテク	古瀬宗雄	研究助成のため
ECL エージェンシー株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
美須賀海運株式会社	校長	大島商船高等専門学校古荘校長の海事教育研究に対する支援のため
日本発条株式会社	笹岡秀紀	研究助成のため
株式会社リバネス	山口伸弥	海洋ゴミについての課題解決策に関する地域貢献活動

地域生涯学習

公開講座

毎年7月～9月頃を中心に、様々な分野の公開講座を開催しています。受講者は、講座のテーマ、対象者の年齢、人数などにより制限することがありますが、原則として、どなたでも受講できます。受講料は、講座により異なります。なお、その年度に実施する公開講座のテーマについては、ポスター、パンフレット、自治体広報、本校ホームページ等でお知らせしています。

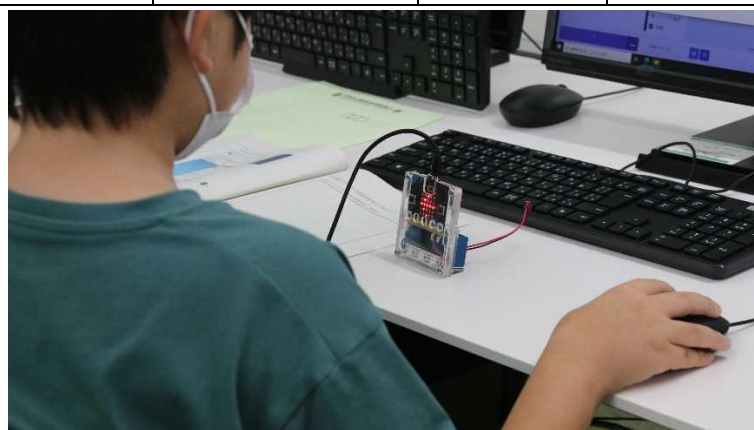
令和4年度は、6件の公開講座が執り行われました。コロナ禍の影響で例年に比べて件数が少ない状況となりました。

令和4年度に開催した公開講座は以下の通りです。

日程	公開講座名	対象	遂行人数	講師
8月18日(木)	マイクロビットでゲームを作ってみよう！with コンピューター部	小学生 中学生	3人	技術支援センター
8月～3月 (全22.5時間)	ハングル語学堂	一般	8人	朴 鍾徳
8月19日(金)	もの作り体験講座 -電池とモーターで動く-	小学生(高学年)、 中学生	3人	岡野内 悟
8月28日(日)	水上オートバイで人命救助 (PWCレスキュー)体験講座	一般	3人	幸田 三広
2月19日(日)	ドローンとボートを駆使する！ 海ごみ調査隊になろう！ in 大島商船高等専門学校	小学生(高学年)	15人	山口 伸弥
3月25日(土)	ドローンとボートを駆使する！ 海ごみ調査隊になろう！ in 大島商船高等専門学校 <第2回実践編>	小学生(高学年)	20人	山口 伸弥



ドローンとボートを駆使する！



マイクロビットでゲームを作ってみよう！

公開講座の様子

出前授業

小学校や中学校、保育園などに講師を派遣して出前授業を行っています。

令和4年度は、16件の出前授業を開催しました。

令和4年度に開催した出前授業は以下の通りです。

日程	内容 (出前授業先)	対象	遂行人数	講師
6月14日(火)	防災出前授業 (防府市立新田小学校)	児童 教職員	91人 6人	幸田 三広 吉積 侑莉
6月22日(水)	防災出前授業 (周防大島町立城山小学校)	児童 教職員 保護者	39人 13人 20人	小林 孝一郎 吉積 侑莉
7月5日(火)	防災出前授業 (光市立東荷小学校)	児童 教職員	17人 6人	幸田 三広 吉積 侑莉
7月28日(木)	みずではしるふねをつくろう (柳美幼稚園)	園児 教職員	17人 3人	山口 伸弥 前畑 航平
8月1日(月)	ポンポン船をつくろう (岩国市中央公民館)	児童	15人	山口 伸弥
8月2日(火)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (羽仁保育園)	園児 教職員	28人 4人	前畑 航平 山口 伸弥
8月4日(木)	海のゴミについて考えてみよう (山口県立山口図書館)	児童	40人	山口 伸弥
8月12日(金)	ふねのおしごとって? (ひづみ保育園)	園児 職員	15人 2人	前畑 航平
8月22日(月)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (ひまわり児童クラブ)	児童 職員	24人 2人	山口 伸弥
8月25日(木)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (岩国師木野出張所)	児童	10人	前畑 航平 山口 伸弥
10月5日(水)	防災出前授業 (周防大島町立大島中学校)	生徒 教職員	61人 14人	渡邊 武 吉積 侑莉

10月19日(水)	ふねのおしごとって? (柳井市立新庄小学校)	児童 教職員	26人 1人	山口 伸弥 前畑 航平
11月29日(火)	防災出前授業 (周防大島町立安下庄小学校)	児童 教職員	16人 3人	幸田 三広 小林 孝一郎
12月10日(土) 12月11日(日)	ふねをしろろう!ふねをつくろろう! ~みずのちからではしるふね~ (竹田市城下町交流プラザ) (体験型子ども科学館 O-Labo)	児童 教職員	150人 4人	山口 伸弥 渡邊 武 山口 康太
12月13日(火)	防災出前授業 (柳井市立大畠中学校)	生徒 教職員	29人 11人	幸田 三広 小林 孝一郎
3月2日(木)	プログラミング体験講座 (柳井市立日積小学校)	児童 教職員	16人 3人	北風 裕教 高橋 芳明 松原 貴史 重本 昌也

出前授業「みずではしるふねをつくろう」の実施 山口 伸弥・前畑 航平

2022年7月28日（木）に柳美幼稚園（柳井市）、8月2日（火）に羽仁保育園（柳井市）などで、出前授業「みずではしるふねをつくろう」を本校商船学科前畑講師と練習船大島丸山口一等機関士を講師として開催しました。まず始めに船の種類や大きさの話をし、次に船が浮かぶ仕組みについて粘土を使った実験を行い、園児たちに分かりやすく説明をしました。その後、食品トレーとコップ、ストローなど身近にあるものを使い、水を入れると走り出す船を作ります。最後にプールに浮かばせ、園児たちは作った船を競わせて楽しんでいました。



柳美幼稚園

出前授業「プログラミング体験講座」の実施 北風 裕教・重本 昌也

2023年3月2日（木）に柳井市立日積小学校において、「大島商船出前授業～プログラミングロボット（コーディーロッキー）体験講座～」を本校情報工学科北風教授と重本助教が行いました。小学3年生～6年生が参加し、ブロック言語を利用してロボットを動作させる手法について学びました。ロボットをスタート地点から目標地点まで走らせるプログラムでは、生徒さんは夢中になって開発をしていました。



プログラミング体験講座の様子（日積小学校）

大島商船高等専門学校地域連携交流会事業



事業の概要

趣旨・事業内容

大島商船高等専門学校地域連携交流会は、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界（地元企業・地場産業）との各種交流を通じて、海事産業・地域産業等の発展に寄与するとともに、大島商船高専の教育研究の振興を図ることを目的として、平成21年10月に設立されました。

令和4年度末の会員数は、法人会員42団体、特別会員12団体、個人会員25名です。法人会員の年会費は一口10,000円（一口以上）で、個人会員の年会費は一口2,000円（一口以上）、特別会員は無料となっています。

会員企業（法人会員42団体）

	企業名・団体名	所在地
1	株式会社アイ・キャン	〒740-0022 岩国市山手町 1-17-3
2	あさひ製菓株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 5275 番地
3	株式会社アデリー	〒742-0021 柳井市柳井 11171 番地 1
4	有限会社岩本商事	〒745-0044 周南市千代田町 11-36
5	井本商運株式会社 (★)	〒650-003 兵庫県神戸市中央区浪花町 59
6	株式会社インフォコム西日本	〒740-0012 岩国市元町 4-12-5
7	株式会社エス・イー・サポート	〒731-3164 広島県広島市安佐南区沼田町伴 6000-7
8	株式会社NTTデータフロンティア (★)	〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川ビル 25 階

9	大島郡水産共励会	〒742-2801 山口県大島郡大島町大字浮島 464-11
10	大島商船高専同窓会	〒742-2193 大島郡周防大島町小松 1091-1 校内
11	有限会社大野屋商店	〒742-0021 柳井市柳井 1574-26
12	小田水産	〒742-1111 熊毛郡平生町大字佐賀浜田 1607-1
13	加藤汽船株式会社 (★)	〒650-0041 神戸市中央区新港町 3 番 7 号
14	カワノ工業株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 1740 番地 1
15	吉祥海運株式会社	〒747-0814 防府市三田尻 2-11-1
16	株式会社サンテック	〒745-0862 周南市江口 2 丁目 1 番 17 号
17	株式会社 SEA WAY	〒730-0016 広島県広島市中区鞆町 3-1
18	Cherie 合同会社	〒744-0018 下松市西郷 2 丁目 3-30-313
19	株式会社シーゲートコーポレーション	〒734-0013 広島県広島市南区出島 2 丁目 22 番 37 号
20	ジャンボフェリー株式会社 (★)	〒650-0041 神戸市中央区新港町 3 番 7 号
21	新川電機株式会社 西中国支社	〒745-0811 周南市五月町 10-45
22	一般財団法人新日本検定協会	〒108-0074 東京都港区高輪 3 丁目 25 番 23 号 京急第 2 ビル
23	新立電機株式会社	〒744-0002 下松市東海岸通り 1 番地 10
24	周防大島町商工会	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4485
25	大晃ホールディングス株式会社	〒742-1598 熊毛郡田布施町大字下田布施 209-1
26	太陽通信株式会社	〒742-0032 柳井市古開作 563-6
27	有限会社千鳥	〒742-2803 大島郡周防大島町土居 1094-1

28	有限会社長州電気	〒742-1101 山口県熊毛郡平生町大字平生町 568-5
29	帝人株式会社 岩国事業所	〒740-8511 岩国市日の出町 2-1
30	トクヤマ海陸運送株式会社	〒745-0025 周南市築港町 2 番 18 号
31	有限会社中谷事務機	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4775
32	株式会社中村造船鉄工所	〒742-1353 柳井市阿月字積 1020-1
33	株式会社沼田ヤンマー商会	〒742-0021 柳井市柳井 150-60
34	阪九フェリー株式会社 (★)	〒800-0113 北九州市門司区新門司北 1-1
35	株式会社フジマ	〒742-8555 柳井市柳井 987
36	株式会社藤本コーポレーション	〒742-0023 柳井市南浜 3 丁目 1-1
37	防予フェリー株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 134
38	株式会社ボルテック (★)	〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 2-8-13
39	株式会社松下美紀照明設計事務所	〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜 3-4-7
40	株式会社丸久 (★)	〒747-8509 山口県防府市大字江泊 1936 番地
41	山口県農業協同組合 周防大島統括本部	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4723 番地
42	ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 中国販売部	〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜 3 丁目 1-31

★は令和4年度に新しく会員になった企業・団体です。(★)

特別会員（12 団体）

	企業名・団体名	所在地
1	岩国市	〒740-8585 岩国市今津町1丁目14-51
2	上関町	〒742-1402 熊毛郡上関町大字長島503
3	公益財団法人 やまぐち産業振興財団	〒753-0077 山口市熊野町1-10 NPY ビル10階
4	西京銀行 大島支店	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀4341-1
5	周防大島町	〒742-2192 大島郡周防大島町大字小松126-2
6	田布施町	〒742-1592 熊毛郡田布施町大字下田布施3440番地1
7	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4丁目1番1号
8	日本政策金融公庫 岩国支店	〒740-0018 岩国市麻里布四丁目1番3号 ARK ビルII 2階
9	平生町	〒742-1195 熊毛郡平生町大字平生町210-1
10	柳井市	〒742-8714 柳井市南町一丁目10番2号
11	山口銀行 大島支店	〒742-2106 大島郡周防大島町大字小松278-4
12	山口県水産研究センター	〒753-8501 山口市滝町1番1号

個人会員（25 名）

地域連携交流会役員会

地域連携交流会役員会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、当年度の事業計画（案）、予算（案）、総会日程（案）等について検討されます。会員（企業、個人）と大島商船高等専門学校との密接な交流による教育研究の活動を支援するとともに、地域連携事業の円滑な推進を図り、地域社会が発展することを目的に議論が行われます。



地域連携交流会役員会（令和4年度の様子）

地域連携交流会総会

地域連携交流会総会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、地域連携交流会役員会で議論された当年度の事業計画（案）、予算（案）についての承認が行われます。事業計画（案）では、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界との交流に関する事業、2. 技術者のリフレッシュ教育など企業の育成支援事業、3. 大島商船高専への支援事業、4. その他、本会の目的を達成するため適当と認められる事業についての詳細な確認が行われます。また、予算（案）においては、目的が達成されるよう配分がされているかの確認が行われます。

なお、近年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議を行っておりましたが、令和4年度は、9月14日（水）14時から大島商船高等専門学校多目的メディア教室で3年ぶりとなる対面で実施し、滞りなく議題に対する承認が行われました。当日は、KOSEN EXPO 2022 とキャリア教育フォーラムのイベント参加に関する案内もあり、地域連携交流会の参加に対するメリットについて、大島商船高専地域協力センター長の北風裕教先生より説明がありました。



山田多加司会長の挨拶



地域連携交流会総会

地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演）

地域連携交流会総会と同日に、会員発表および特別講演が催されます。会員発表では、会員企業間における連携を強める目的で、企業様の経営理念や企業テーマ、会社説明などが行われます。特別講演では、企業間の連携や企業と高専の連携をより具体化するために、大学やNPO法人から専門の方を招聘して、共同研究や受託研究などについてのメリットや事例紹介を行います。

令和4年度は、9月14日（金）14時30分（総会終了後）に同会場（大島商船高等専門学校多目的メディア教室）で実施されました。

令和4年度 大島商船高等専門学校 地域連携交流会 総会

※受付開始 13:40 ~

14:00 総会

14:35 会員紹介 (1) **会員紹介 (2)** **15:05**

『株式会社 藤本コーポレーション 会社・ファーム事業説明』

『帝人株式会社 岩国事業所 会社・事業所概要説明』

熊野 貴法 氏 (株式会社 藤本コーポレーション ファーム事業部担当)

石貝 剛 氏 (帝人株式会社 岩国事業所 事務室長)

15:45 特別講演 『共同研究のすすめ (実施するためのノウハウ)』

川原 秀夫 氏 (防衛大学校 システム工学群 機械システム工学科 教授)

16:50 閉会式

お問い合わせ先 〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1 大島商船高等専門学校 総務課企画係 TEL: 0820-74-5457 MAIL: kikaku@oshima-k.ac.jp



会員発表の様子（左：熊野貴法様、右：石貝剛様）



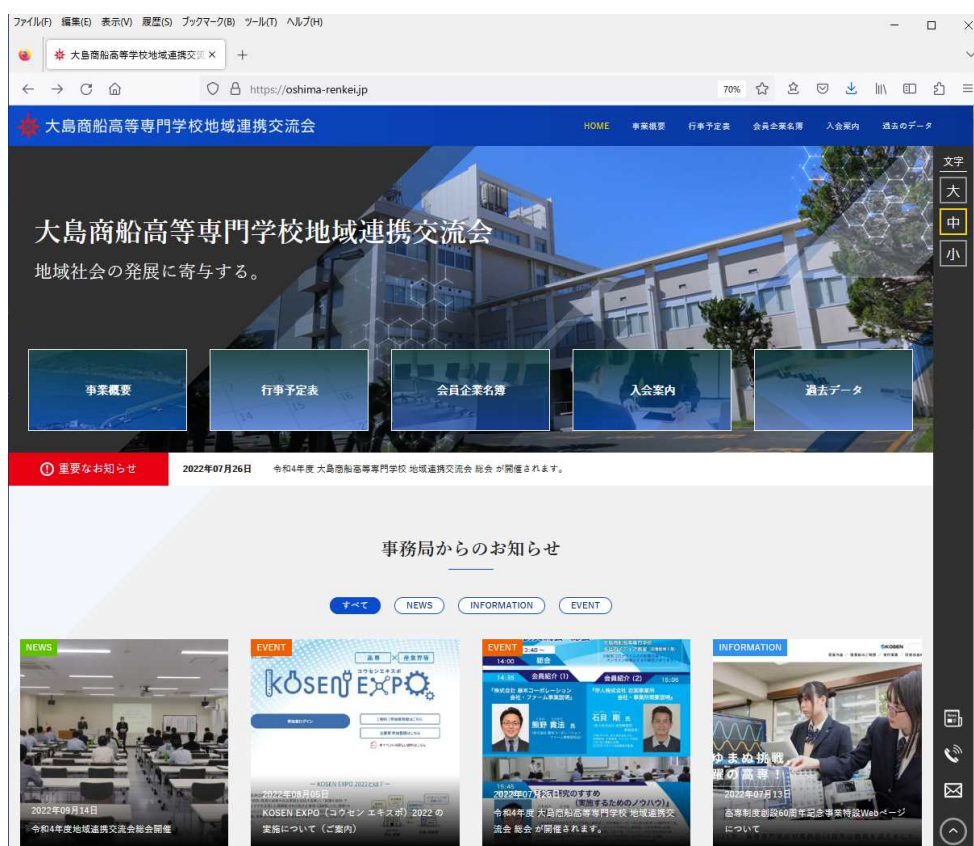
特別講演（川原秀夫様）の様子

地域連携交流会ホームページ

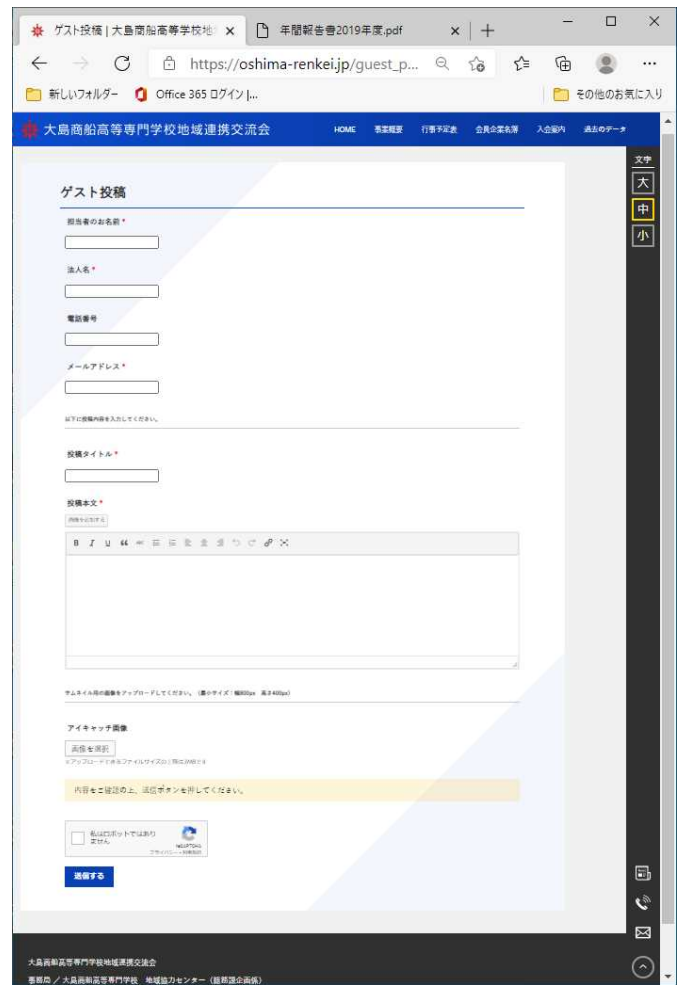
大島商船高等専門学校地域連携交流会では令和2年度からWebサイトを開設しております。事務局からのお知らせをはじめ、事業概要、行事予定表、会員企業名簿、入会案内、過去のデータを掲載しております。

また、各会員様からのニュースやイベントについてもWebサイトのトップページに掲載することで、地域協力が円滑に行えるようになっていきます。

なお、個人会員、一般会員、特別会員の皆様からの記事を容易にアップデートできる仕組みを構築しており、記事はブログ形式で記述することができ、図や写真なども記載することができます。



Web サイトトップページ



各記事のページ

付録

科学研究費助成事業

概要

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

過去の受入状況（継続を含む件数、分担は含まない）

	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
基盤研究 (A)	0	0	0	0	0
基盤研究 (B)	0	0	0	0	0
基盤研究 (C)	3	3	4	7	2
挑戦的研究 (萌芽)	0	0	0	0	0
若手研究 (A)	1	0	0	0	0
若手研究 (B)	1	1	0	0	0
若手研究	3	3	4	1	0
研究活動スタート支援	0	0	0	0	0
奨励研究	0	1	0	1	0
計	8	8	8	9	2

令和 4 年度科学研究費助成事業 新規採択状況

研究種目	研究課題	研究代表者 (期間)
基盤研究(C)	若手航海者の総合的な安全行動支援指標の構築	久保田 崇 (令和 4 年度～令和 6 年度)
基盤研究(C)	低消費電力・高効率を両立する小型 4 冷凍機の開発と実証	増山 新二 (令和 4 年度～令和 6 年度)

令和4年度教育改善充実費（校長裁量経費）

概要

機構本部から配分される運営費交付金等は前年度の実績額・配分額、また各部署から提出された「所要額積算調書【一般経費・特別経費】」の内容を検討し、年度の必要性を踏まえた上で予算配分額を決定しています。また、一定額を「校長裁量経費」として確保し、教職員から研究及び教育改善に必要な資金として公募を行い、ヒアリングを実施し決定のうえ所要額を配分しています。施設整備についても、一定額を校長裁量経費として教育設備整備費経費を確保し、学科単位で申請書の提出を求めて、ヒアリングを実施して決定のうえ、所要額を学科に配分されています。

以下が、令和4年度の校長裁量経費の採択状況です。

令和4年度校長裁量経費採択状況

学科等	代表担当者	プロジェクトの名称
一般科目	幸田三広	大島商船ドローンプロジェクトチームが挑む、海洋ごみ問題の解決に向けたSDGs教育プログラムの開発
商船学科	朴 鍾徳	海外の船員養成機関との連携によるグローバルエンジニア育成のためのカリキュラム確立への取組
技術支援センター	胡 拓弥	小中高生を対象としたインターネットの「記録性」の理解を深めるための体験型疑似SNS教材の開発
商船学科	松村哲太	表面テクスチャリングを用いた往復動機械の低摩擦化に関する研究
グループ	浅川貴史	簡易風向風速計ネットワークの構築と地域振興への活用
情報工学科	北風裕教	潮流発電技術を取り入れた海洋ごみ回収システムの開発による地域再生の実現
商船学科	久保田 崇	操船シミュレーター装置 更新までの維持
一般科目	四丸直人	無理数回転の挙動について
総務課	企画係	高等専門学校資料館収蔵資料のデジタルアーカイブ化
商船学科	森脇千春	本校及び小松港付近の船上風補正アルゴリズム構築と有効性の検証
電子機械工学科	藤井雅之	第二種電気工事士の資格取得による教育の質的保証

公募助成金（助成金）

概要

民間企業等の団体による助成事業に応募して採択された事業です。

過去の採択状況（入金年度を記入しています。）

	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R3 年度	R 4 年度
一般科目	0	0	0	0	1
商船学科	3	2	1	4	1
電子機械工学科	3	3	2	1	1
情報工学科	0	0	1	1	0
技術支援センター	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	7	5	4	6	3

令和 4 年度公募助成金採択状況

団体名	研究題目	助成額 (千円)	氏 名
一般社団法人 日本先端科学技術教育人材研究 開発機構	マリンチャレンジプログラム(水上オート バイを用いた海洋ごみ回収を SDGs 教育 へつなぐ)	90	幸田 三広
公益財団法人 長岡技術科学大学技術開発教育 研究振興会	デスクトップ型 ECR イオンビーム装置に よる外付け蒸発源を用いた金属イオン生 成の検証	200	中村 翼
一般財団法人 山縣記念財団	船舶関連の海洋汚染防止の法体制と現場 の実情に関する調査	100	千葉 元

技術相談申込要領

相談内容は次のようなものがあげられます。技術相談とは、企業等における技術的な問題解決を中心とした一時的な相談をいいます。技術相談の申請は、原則として地域協力センターで受付いたします。

(1) 科学技術相談 (2) 地域交流相談 (3) 教育相談 (4) 共同研究相談 (5) 調査研究相談

相談の申込みは、地域協力センター技術相談申込書(様式1)に、相談内容をできるだけ具体的にご記入の上、後記の問い合わせ先にお送りください。ご記入いただきました情報は、技術相談に対する回答などのために入手するもので、あらかじめ同意を得ることなく、この目的以外の利用はいたしません。相談申込所受理後、相談内容に最も適切と思われる教員を選定した上で、相談日時などを連絡させていただきます。しかしながら、申し込まれた相談内容に対して、お答えできる教員が本校に在籍しない場合は、相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

また、大島商船高等専門学校の名称を利用することのみを目的とする相談には応じられません。

技術相談は、初回は原則無料です。2回目以降の相談については、問題解決のために時間や経費を必要とする場合には、技術相談料の徴収や共同研究等として取り扱うことになります。ただし、地元企業との連携状況や地域性を勘案し、必要に応じては2回目以降も無料として取り扱われることもあります。

技術相談料金表

相談回数	金額	備考
1回目	無料	
2回目以降	30,000円/1回 (消費税別) 1回の相談は、2時間で3日分を想定	地元企業との連携状況や地域性を勘案し、2回目以降も無料となることがあります。

技術相談申込書(様式1)

<https://www.oshima-k.ac.jp/school/gijutusoudannmousikomisho.doc>



〒742-2193

山口県大島郡周防大島町大字小松1091-1

大島商船高等専門学校総務課企画係 TEL 0820-74-5457 FAX 0820-74-5552

E-mail kikaku@oshima-k.ac.jp URL <https://www.oshima-k.ac.jp>

技術相談申込書 (様式1)

技術相談報告書 (様式2)

別紙1
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談申込書

地域協力センター長 殿

下記のとおり技術相談を申込みます。

記

申 込 者	企業名等	
	役 職	
	氏 名	印
	住 所	
	電 話	
	E-mail	
担当教職員の名	<input type="checkbox"/> 有 (担当教職員名: 〇〇 〇〇) <input type="checkbox"/> 無	
相談内容	具体的に記入ください。	

次の事項について、ご確認の上、同意いただける場合は、しをご記入願います。

秘 密 保 持	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過において、担当教職員よりノウハウ等の提供を受けた場合、秘密保持契約を締結することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。
知的財産の取扱い	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過又は結果、担当教職員の寄与により知的財産が生じた場合、当校へ書面にて通知することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。

別紙2
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談報告書

地域協力センター長 殿

(報告者) 所属: 〇〇学科・技術室
役職: _____
氏名: _____ 印

下記のとおり技術相談を行いましたので報告します。

記

技術相談実施日時	令和〇〇年〇〇日 (〇) 〇〇: 〇〇 ~ 〇〇: 〇〇 (〇〇時間)										
相 談 者 ※名刺の写し添付可	企業名等:										
	役 職:										
	氏 名:										
	連絡先:										
相談内容											
対 応	ノウハウ等の提供 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無										
	秘密情報の受領 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無										
	今後の対応 <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 無										
	知的財産の創出 <input type="checkbox"/> 有 ※詳細は別途説明等欄のとおり (口発明・口考案・口意匠・口ノウハウ・口その他) <input type="checkbox"/> 今後創出する可能性が有 <input type="checkbox"/> 無										
以下 記入不要.....										
確認欄	相談料 : <input type="checkbox"/> 有料 (〇〇〇〇 円) <input type="checkbox"/> 無料 秘密保持契約 : <input type="checkbox"/> 締結済み <input type="checkbox"/> 後日締結が必要 <input type="checkbox"/> 締結は不要 発明等の取扱い : <input type="checkbox"/> 知的財産委員会へ相談 <input type="checkbox"/> 無 今後の対応 : <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 相談継続 <input type="checkbox"/> 無(完了)										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">地域協力センター長</td> <td style="width: 20%;">総務課長</td> <td style="width: 20%;">課長補佐</td> <td style="width: 20%;">企画係長</td> <td style="width: 20%;">担当者</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	地域協力センター長	総務課長	課長補佐	企画係長	担当者					
地域協力センター長	総務課長	課長補佐	企画係長	担当者							

センター主要日誌

月日	事項	場所等
4/7 (木)	NHK取材 DCONと地域協力に関して	大島商船高等専門学校 北風研究室
4/11 (月)	起業家甲子園・総務大臣賞受賞式 中国総合通信局	大島商船高等専門学校 校長室
4/11 (月)	メディア総研打合せ	大島商船高等専門学校 前畑研究室
4/13 (水)	周防大島町教育委員会・教育長打合せ	大島郡周防大島町 東和庁舎
4/13 (水)	DCONメンター打合せ	大島商船高等専門学校 北風研究室
4/19 (火)	(公財)中国地域創造研究センター・打合せ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/19 (火)	株式会社藤本コーポレーション・ご挨拶および打合せ	柳井市 藤本コーポレーション
4/22 (金)	第1回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議
4/25 (月)	トクヤマ海陸運送株式会社・ご挨拶(電話対応)	大島商船高等専門学校 北風研究室
4/26 (火)	NHK取材 DCONと地域協力に関して	大島商船高等専門学校 北風研究室
5/10 (火)	地域連携交流会についての打合せ・学生課長	大島商船高等専門学校 総務係
5/11 (水)	DCON結果について表敬訪問・周防大島町長	大島郡周防大島町 周防大島町役場
5/17 (火)	地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 グループ学習室
5/17 (火)	第2回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議
5/25 (水)	大島商船ドローンチーム(海洋ごみ対策)・打合せ	大島商船高等専門学校 グループ学習室
5/30 (月)	大島商船ドローンチーム(海洋ごみ対策)・打合せ	大島商船高等専門学校 多目的メディア教室
5/31 (火)	丸久株式会社・企業訪問	防府市 丸久株式会社
6/3 (金)	第3回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議

6/10 (金)	地域連携交流会役員会事前打合せ・校長先生	大島商船高等専門学校 校長室
6/14 (火)	地域連携交流会役員会	大島商船高等専門学校 大会議室
6/14 (火)	出前授業 防災出前授業	防府市 防府市立新田小学校
6/15 (水)	KOSEN EXPO 説明会・オンライン	大島商船高等専門学校 北風研究室
6/21 (火)	テレビ山口 熱血テレビ取材 DCON&地域協力	大島商船高等専門学校 北風研究室
6/22 (水)	出前授業 防災出前授業	大島郡周防大島町 周防大島町立城山小学校
6/23 (木)	山口県警 防犯ボランティア 委嘱状	大島商船高等専門学校 校長室
6/27 (月)	柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談	大島商船高等専門学校 北風研究室
6/28 (火)	トクヤマ海陸運送株式会社・地域連携交流会山田会長打合せ	周南市 藤本コーポレーション
6/29 (水)	柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談	大島商船高等専門学校 北風研究室
6/30 (木)	株式会社エリートネットワーク・取材	大島商船高等専門学校 校長室・北風研究室
6/30 (木)	柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談	大島商船高等専門学校 北風研究室
7/1 (金)	丸久株式会社・宇佐川様打合せ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
7/4 (月)	柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談	大島商船高等専門学校 北風研究室
7/5 (火)	柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談	大島商船高等専門学校 北風研究室
7/5 (火)	出前授業 防災出前授業	光市 光市立東荷小学校
7/6 (水)	KOSEN EXPO 関連・同窓会打合せ	大島商船高等専門学校 北風研究室
7/6 (水)	環境クルーズ・田中様打合せ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
7/7 (木)	大島商船ドローンチーム（海洋ごみ対策）・打合せ	大島商船高等専門学校 グループ学習室
7/13 (水)	海洋教育パイオニアスクール・田中様打合せ	大島商船高等専門学校 地域協力センター

7/20 (木)	大島商船ドローンチーム (海洋ごみ対策)・打合せ	大島商船高等専門学校 グループ学習室
7/22 (金)	株式会社奥井組・打合せ (オンライン)	大島商船高等専門学校 北風研究室
7/28 (金)	出前授業 水ではしるふねをつくろう	柳井市 柳美幼稚園
8/1 (月)	出前授業 ボンボン船をつくろう	岩国市 岩国市中央公民館 (愛宕地区)
8/2 (火)	出前授業 水ではしるふね (ストロー船)をつくろう	柳井市 羽仁保育園
8/3 (水)	地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 大会議室
8/4 (木)	地域協力センター運営委員会関係・校長先生打合せ	大島商船高等専門学校 校長室
8/4 (水)	出前授業 海のゴミについて考えてみよう	山口市 山口県立山口図書館
8/6 (土)	公開講座 (1回目) ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
8/12 (金)	出前授業 ふねのおしごとって?	柳井市 ひづみ保育園
8/18 (木)	公開講座 マイクロビットでゲームを作ってみよう!with コンピューター部	大島商船高等専門学校 技術支援センター・情報教育センター
8/19 (金)	公開講座 もの作り体験講座 -電池とモーターで動く-	大島商船高等専門学校 岡野内研究室
8/22 (月)	出前授業 水ではしるふね (ストロー船)をつくろう	柳井市 ひづみ保育園 (ひまわり児童クラブ)
8/24 (水)	周防大島町 連携推進会議	大島郡周防大島町 周防大島町役場
8/25 (木)	出前授業 水ではしるふね (ストロー船)をつくろう	岩国市 岩国師木野分館
8/26 (金)	平生町まちづくり協議会	熊毛郡平生町 平生町役場
8/28 (日)	公開講座 水上オートバイクで人命救助 (PWCレスキュー) 体験講座	大島商船高等専門学校 大島丸棧橋
9/2 (金)	柳井警察署・井上様 資料受け渡し	柳井市 柳井警察署
9/3 (土)	公開講座 (2回目) ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
9/10 (土)	公開講座 (3回目) ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室

9/13 (火)	海洋教育パイオニアスクール	大島商船高等専門学校 棧橋
9/14 (水)	地域連携交流会総会	大島商船高等専門学校 多目的メディア教室
9/16 (火)	第4回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議
9/17 (土)	公開講座（4回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
9/30 (金)	第5回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 小会議室
10/5 (水)	出前授業 防災出前授業	大島郡周防大島町 周防大島町立大島中学校
10/11 (火)	KOSEN EXPO オンライン説明会	大島商船高等専門学校 北風研究室
10/13 (木)	大島丸・進水式	下関市 三菱造船株式会社
10/15 (土)	公開講座（5回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
10/15 (土)	高専プロコン・自由部門・周防大島町連携（海洋ごみ関連）	群馬県高崎市 Gメッセ群馬
10/16 (日)	高専プロコン・自由部門・周防大島町連携（海洋ごみ関連）	群馬県高崎市 Gメッセ群馬
10/19 (水)	出前授業 ふねのおしごとって？	柳井市 新庄小学校
10/21 (金)	山口県警・柳井警察署打合せ	大島商船高等専門学校 小会議室
10/24 (月)	周防大島町行政改革推進委員会	大島郡周防大島町 大島町役場
10/25 (火)	オングリッドホールディング株式会社打合せ（オンライン）	大島商船高等専門学校 北風研究室
10/29 (土)	公開講座（6回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
11/5 (土)	キャリア教育フォーラム（地域連携交流会協力）	大島商船高等専門学校 第1体育館
11/5 (土)	公開講座（7回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
11/8 (火)	平生町人権施策推進委員会	熊毛郡平生町 平生町役場
11/9 (水)	DCON 事務局訪問・講演	大島商船高等専門学校 校長室・多目的メディア教室・浅川研究室・北風研究室

11/19 (土)	公開講座（8回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
11/28 (月)	GCON 面談 Smart Searcher 開発 LAB（海洋ごみ関連）	大島商船高等専門学校 北風研究室
11/29 (火)	出前授業 防災出前授業	大島郡周防大島町 周防大島町立安下庄小学校
12/3 (土)	公開講座（9回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
12/5 (月)	第6回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 小会議室
12/10 (土)	出前授業 出前授業「ふねをしろう！ふねをつくろう！～みずではしるふね～」	大分県竹田市 一般社団法人 大分科学普及会 竹田市城下町交流プラザ
12/11 (日)	出前授業 出前授業「ふねをしろう！ふねをつくろう！～みずではしるふね～」	大分県竹田市 一般社団法人 大分科学普及会 体験型子供科学館
12/13 (火)	リバネス訪問 Smart Searcher 開発 LAB（海洋ごみ関連）	大島商船高等専門学校 北風研究室
12/13 (火)	出前授業 防災出前授業	柳井市 柳井市立大島中学校
12/13 (火)	第7回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議
12/17 (土)	公開講座（10回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
12/20 (火)	島スクエアプラス、周防大島町 DX 班（防災スマホ教室関連）打合せ	大島商船高等専門学校 グループ学習室
1/7 (土)	公開講座（11回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
1/15 (日)	GCON 発表（海洋ごみ関連）	東京都 日経ホール
1/21 (土)	公開講座（12回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
1/24 (火)	スタートアップ教育環境整備事業連携企業挨拶・大晃機械工業株式会社	熊毛郡田布施町 大晃機械工業株式会社
1/24 (火)	周防大島町議会議員打合せ・田中豊文様	大島商船高等専門学校 北風研究室
2/2 (木)	大島商船ドローンチーム（海洋ごみ対策）・打合せ	大島商船高等専門学校 グループ学習室
2/4 (土)	公開講座（13回目） ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
2/6 (月)	平生町人権施策推進委員会	熊毛郡平生町 平生町役場

2/7 (火)	第8回 研究推進・地域協力・知的財産委員会	大島商船高等専門学校 メール審議
2/9 (木)	GCON 結果について表敬訪問・周防大島町長	大島郡周防大島町 周防大島町役場
2/14 (火)	有限会社長州電気・東様と打合せ	大島商船高等専門学校 技業室
2/18 (土)	公開講座 (14 回目) ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 小会議室
2/19 (日)	公開講座 ドローンとボートを駆使する！海ごみ調査隊になろう！in 大島商船高等専門学校	大島商船高等専門学校 技業室
2/20 (月)	GCON 結果に対する取材・中国新聞社・川井様	大島商船高等専門学校 北風研究室
2/27 (月)	中国地区テクノセンター長会議	大島商船高等専門学校 小会議室
2/28 (月)	周防大島町行政改革推進委員会	大島郡周防大島町 周防大島町役場
2/28 (月)	令和4年度評議会	大島商船高等専門学校 多目的メディア教室
3/2 (木)	出前授業 プログラミング体験講座	柳井市 柳井市立日積小学校
3/3 (金)	JR 西日本・綿野様打合せ	大島商船高等専門学校 北風研究室
3/11 (土)	公開講座 (15 回目) ハングル語学堂	大島商船高等専門学校 グループ学習室
3/19 (日)	大島丸披露記念式典・祝賀会	大島商船高等専門学校 第1体育館
3/24 (金)	周防大島町議会議員・山口県漁業協同組合理事・小田様打合せ	大島郡周防大島町伊保田 漁業協同組合東和町支店
3/25 (土)	公開講座 ドローンとボートを駆使する！海ごみ調査隊になろう！in 大 島商船高等専門学校<第2回 実践編>	大島商船高等専門学校 技業室・棧橋・記念館
3/27 (月)	次期地域協力センター長との引継ぎ	大島商船高等専門学校 北風研究室
3/30 (木)	広島県養殖関連企業との打合せ (オンライン)	大島商船高等専門学校 北風研究室
3/30 (木)	DCON 取材・(海洋ごみ・水産業) (オンライン)	大島商船高等専門学校 北風研究室
3/31 (木)	NHK 取材 DCON と地域協力に関して	大島商船高等専門学校 北風研究室

センター運営会議の開催状況

会議の開催回数及び議題

回	開催日	審議事項等
1	令和4年 5月17日(火)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度地域協力センター運営体制について (2) 地域連携交流会会員状況について (3) 令和3年度(昨年度)スケジュールについて確認 (4) 令和3年度 地域連携交流会総会・特別講演会について確認 (5) 令和3年度 地域協力センター年報について確認 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度の地域協力センター活動計画(案)について (2) 地域連携交流会関連 (3) アピール方法について (4) 今後の予算について (5) 公開講座・出前授業について (6) 地域連携交流会会報(13号)の発行について <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域連携交流会総会の会員獲得依頼について (2) 連携交流会入会
2	令和4年 8月3日(水)	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 海洋環境クルーズ「海の環境を船上から調べる」 (2) 周防大島町との連携推進会議 (3) キャリア教育フォーラム(就職進学合同説明会) (4) 地域協力センター運営委員の企業訪問報告 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) KOSEN EXPO (2) 地域連携交流会総会(9月14日) (3) 海洋教育パイオニアスクール(9月13日) (4) 地域協力センター運営規則
3	令和4年 2月8日(金)～ 2月14日(火)	<p>(メール審議)</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大島商船高等専門学校地域協力センター運営規則の制定及び地域協力センター 運営内規の廃止について地域連携交流会総会について

地域協力センター（令和4年度）

センター長	北風裕教（情報工学科）
副センター長	中村 翼（電子機械工学科）
センター委員	千葉 元（商船学科）
	朴 鍾徳（商船学科）
	岡野内悟（電子機械工学科）
	杉野直規（情報工学科）
	杉村佳昭（一般科目）
	末次 竜（一般科目）

総務課長	毛利好孝
総務課企画係	

表紙・裏表紙（絵） 初崎雛希（電子機械工学科4年）

